



家庭児童相談室の窓から

「そちらの相談室を紹介したので、よろしく」というお電話をいただくことがあります。家族や子どもさんのことで悩んでいらっしゃる方に当相談室の電話番号を伝えて、相談するよう勧めたというご連絡です。ただ、このような場合、実際にその方からご相談があるのは50%くらいでしょうか。紹介者からおおまかな事情をお聞きすることが多いので、相談を受けるときの心づもりをしながらも、結局は電話がかかってこないことがよくあります。そんなときは、他の機関に相談なさっていることを祈るしかありません。

端から見れば、「早く相談した方がよい」「もう潮時だ」と思うような状況でも、その渦中にいると、「まだ大丈夫」「もう少し様子を見てから」と考えてしまう気持ちはよくわかります。悩みの多くは他人には話しにくく、これまで何とか持ちこたえてきたことでもあ

るからです。

わたし自身、ギックリ腰を繰り返していることを見かねた友人からある整形外科医院を紹介されましたが、10年位前に病院で「レントゲンでは異状がありませんから」と冷たく言われた経験が忘れられず、どうしても行く気になりませんでした。ところが、最近またギックリ腰で5日間も寝込んでしまい、意を決して教えられた病院を受診したところ、過去のイメージを払拭するような対応で、早く受診しておけば今回寝込まずにすんだのではないかと後悔しました。

相談室の場合は治療ができるわけではありませんが、一緒に考えることと、情報を提供することはできます。問題をすぐに解決できるとは限りませんが、次の問題を予防するために、小さなことであっても気軽に利用していただけるように努めたいと思います。

(家庭児童相談室 相談員 砂川真澄)

家庭児童相談室の御案内

あなたの支えに…*

家庭のこと、子どものこと、自分のこと



熊本学園大学付属社会福祉研究所 家庭児童相談室

家庭や家族に関する問題や、子どもさんのことについて
ご相談をお受けします。ご心配なこと、お困りなことが
ありましたら、お気軽にご利用ください。

受付 水曜日10:00~15:00/金曜日10:00~15:00
(12:00~13:00は昼休み)
年末年始、祝祭日は休みです。費用は無料です。

相談室電話 ☎ 096-364-8732

発行所 熊本学園大学付属社会福祉研究所

〒862-8680 熊本市大江2-5-1 ☎ 096-364-5161 (内線1753)

発行人 所長 豊田謙二 編集人 社会福祉研究所委員会

印刷所 コロニー印刷 ☎ 096-353-1291

